



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 住友軽金属工業株式会社
 コード番号 5738 URL <http://www.sumitomo-LM.co.jp>
 代表者 (役職名) 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山内重徳
 (氏名) 坂上 淳

上場取引所 東 大

TEL 03-3436-9771

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	187,873	△3.5	7,989	△21.3	6,414	△20.8	3,190	△50.2
24年3月期第3四半期	194,717	△0.3	10,147	△18.8	8,102	△12.9	6,401	0.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 5,659百万円 (137.7%) 24年3月期第3四半期 2,381百万円 (△57.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.48	—
24年3月期第3四半期	11.72	11.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	318,414	57,280	17.7	96.98
24年3月期	322,150	53,261	16.3	90.11

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 56,394百万円 24年3月期 52,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
25年3月期	—	1.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	△1.5	12,000	△2.8	10,000	△1.8	5,000	△39.7	8.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	581,538,867 株	24年3月期	581,538,867 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	61,053 株	24年3月期	52,980 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	581,481,151 株	24年3月期3Q	546,101,603 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)個別業績予想

平成 25 年 3 月期の個別業績予想(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	135,000	△17.7	4,300	△36.8	1,300	△92.5	2.23

(注)直近に公表されている個別業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用範囲の変更	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、前半は東日本大震災からの復旧・復興需要やエコカー補助金制度等の経済対策効果を背景に、景気には緩やかな持ち直しの動きが見られました。しかしながら、秋以降は欧州債務問題の継続による世界経済の低迷や経済政策終了の反動により、景気は大幅に減速しました。足元では政権交代による景気対策への期待感から円安・株高が進んでおりますが、依然として景気の先行きは不透明な状況です。

こうした状況の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、急速な世界的需要の落ち込みによる影響があったものの、IT機器用アルミ部材が好調であり、また日立電線(株)の国内銅管事業撤退を受けた顧客からの供給要請への対応により銅管の販売も増加しております。しかしながら、売上高は前年上半期に震災を原因とする特殊要因によりアルミ缶材の販売が高水準であったため、187,873百万円と前年同期に比べ3.5%減少しました。損益面におきましては、販売量の減少やエネルギー価格の上昇等の影響により、営業利益は前年同期比21.3%減の7,989百万円、経常利益は前年同期比20.8%減の6,414百万円となりました。また、四半期純利益につきましては、株価の下落に伴う投資有価証券評価損の計上等により3,190百万円となり、投資有価証券売却益を計上した前年同期に対し50.2%減少いたしました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社について報告セグメントの区分を変更しており、対前年同期比は、前第3四半期連結累計期間分を新区分に組み替えた数値との比較を記載しております。詳細については、添付資料P. 8「3. 四半期連結財務諸表(5)セグメント情報等」をご参照ください。

アルミ圧延品部門

自動車用やIT機器用の販売が増加したものの、コンデンサ用を中心とした箔の販売が落ち込んだことや、前年上半期の飲料缶用の販売が震災による不足分の補充や夏期の電力制限を想定した顧客の先行生産への対応等で高水準であったこと等により、当第3四半期連結累計期間のアルミ圧延品部門の売上高は122,459百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益は8,313百万円(同24.9%減)となりました。

伸銅品部門

業務用エアコン向け等の需要が堅調に推移したことや、日立電線(株)の国内銅管事業撤退を受けた顧客の供給要請への対応等により、国内向けを中心とした銅管の販売が前年同期と比較して上向きであった結果、当第3四半期連結累計期間の伸銅品部門の売上高は38,942百万円(前年同期比0.3%増)となりました。また、損益面におきましては、昨年実施した事業再編の効果等も加わった結果、営業利益は1,535百万円(同40.2%増)となりました。

加工品・関連事業部門

産業機器関連の需要が前年同期と比べて減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の加工品・関連事業部門の売上高は26,471百万円(前年同期比5.1%減)となりました。しかしながら、営業利益につきましては、加工品事業の構造改革効果が発揮されたこと等により588百万円(同51.4%増)となりました。

当社は、関係当局の許認可の取得及び株主総会での承認を前提として、古河スカイ株式会社と、平成25年10月1日(予定)に対等の精神に基づき経営統合することを平成24年8月29日に合意いたしました。本経営統合により、各々の会社で培ってきた総力を結集し、経営資源・資産の融合による相乗効果を発揮することで、グローバルマーケットで確固たる存在感を持つ「世界的な競争力をもつアルミニウムメジャー会社」となることを目指します。詳細につきましては、平成24年8月29日発表の「古河スカイ株式会社と住友軽金属工業株式会社との統合基本合意書締結に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月8日に公表いたしました予想値から変更はなく、売上高2,550億円(前期比1.5%減)、営業利益120億円(同2.8%減)、経常利益100億円(同1.8%減)、当期純利益50億円(同39.7%減)を予想しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

（連結の範囲の重要な変更）

第1四半期連結会計期間より、住軽商(大連保税區)貿易有限公司と住軽商事(昆山)金属制品有限公司の2社を、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、株式会社SKスリッティングは、連結子会社である株式会社SKコーポレーションと合併したため、連結の範囲から除外しております。

第2四半期連結会計期間より、株式会社アルカットの株式を追加取得し子会社となったため、連結の範囲に含めております。また、株式会社日本アルミ及び株式会社日本アルミ滋賀製造所は連結子会社である岩井金属工業株式会社と合併したため、連結の範囲から除外しております。なお、岩井金属工業株式会社は、本合併に伴い、株式会社ナルコ岩井へと商号変更を行っております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,023	9,144
受取手形及び売掛金	43,774	36,513
商品及び製品	16,630	18,454
仕掛品	15,798	16,952
原材料及び貯蔵品	6,864	7,308
その他	10,179	9,744
貸倒引当金	△49	△29
流動資産合計	102,220	98,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,687	24,348
機械装置及び運搬具（純額）	12,166	11,357
土地	95,601	95,231
その他（純額）	17,235	17,519
有形固定資産合計	149,690	148,457
無形固定資産	944	977
投資その他の資産		
投資有価証券	44,042	46,258
その他	25,606	24,806
貸倒引当金	△354	△173
投資その他の資産合計	69,294	70,891
固定資産合計	219,929	220,326
資産合計	322,150	318,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,179	66,440
短期借入金	85,309	86,632
コマーシャル・ペーパー	2,999	2,999
未払法人税等	725	860
賞与引当金	398	188
その他	14,347	14,105
流動負債合計	171,960	171,225
固定負債		
長期借入金	66,288	59,237
退職給付引当金	6,285	6,861
負ののれん	292	161
その他	24,061	23,648
固定負債合計	96,928	89,909
負債合計	268,889	261,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,459	28,459
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	24,355	25,994
自己株式	△5	△6
株主資本合計	58,301	59,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	893
繰延ヘッジ損益	△201	△87
土地再評価差額金	10,665	10,636
為替換算調整勘定	△16,391	△14,989
その他の包括利益累計額合計	△5,898	△3,546
少数株主持分	858	885
純資産合計	53,261	57,280
負債純資産合計	322,150	318,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	194,717	187,873
売上原価	168,703	163,583
売上総利益	26,013	24,289
販売費及び一般管理費	15,866	16,300
営業利益	10,147	7,989
営業外収益		
受取利息	288	330
受取配当金	171	172
持分法による投資利益	103	790
その他	1,572	590
営業外収益合計	2,136	1,883
営業外費用		
支払利息	2,829	2,460
その他	1,351	998
営業外費用合計	4,180	3,458
経常利益	8,102	6,414
特別利益		
負ののれん発生益	134	501
その他	1,293	136
特別利益合計	1,428	638
特別損失		
投資有価証券評価損	1,258	1,287
経営統合費用	—	445
その他	438	457
特別損失合計	1,697	2,189
税金等調整前四半期純利益	7,833	4,862
法人税、住民税及び事業税	849	1,367
法人税等調整額	501	224
法人税等合計	1,350	1,591
少数株主損益調整前四半期純利益	6,483	3,271
少数株主利益	81	80
四半期純利益	6,401	3,190

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,483	3,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	865
繰延ヘッジ損益	△471	12
土地再評価差額金	1,033	—
為替換算調整勘定	△3,973	750
持分法適用会社に対する持分相当額	△668	759
その他の包括利益合計	△4,102	2,387
四半期包括利益	2,381	5,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,304	5,572
少数株主に係る四半期包括利益	76	86

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 部門	伸銅品部門	加工品・関連 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	128,012	38,810	27,894	194,717	—	194,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,481	261	1,549	3,292	△3,292	—
計	129,493	39,071	29,444	198,009	△3,292	194,717
セグメント利益	11,073	1,094	388	12,556	△2,409	10,147

(注)1. セグメント利益の調整額△2,409百万円には、たな卸資産の調整額△6百万円、セグメント間取引消去275百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,678百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 部門	伸銅品部門	加工品・関連 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	122,459	38,942	26,471	187,873	—	187,873
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,389	394	4,455	6,239	△6,239	—
計	123,848	39,336	30,927	194,112	△6,239	187,873
セグメント利益	8,313	1,535	588	10,437	△2,448	7,989

(注)1. セグメント利益の調整額△2,448百万円には、たな卸資産の調整額0百万円、セグメント間取引消去208百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,657百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成24年4月1日付で、当社連結子会社である株式会社アルミセンターの伸銅品部門を、同じく当社連結子会社であるスミケイ銅管販売株式会社へ事業譲渡いたしました。

上記事業再編に伴う社内管理区分の変更により、第1四半期連結会計期間より、従来「加工品・関連事業部門」に含めていた事業の一部を「アルミ圧延品部門」及び「伸銅品部門」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。